

---

## 平成30年度第4回エネルギー政策懇話会参加ご案内

# 「エネルギー長期需要見通しのキー・イシューを考える」

---

日本では第5次エネルギー基本計画と今後のエネルギー政策が検討されておりますが、エネルギー需要については、人口減少や少子高齢化、環境意識による消費行動の変化、技術革新による産業の効率化などの影響が大きいと考えられています。例えば、少子高齢化が進む中でも生活水準を維持するには、生産性向上につながるような技術導入が求められ、それらがエネルギー需要に大きな変化をもたらすといったことが挙げられます。このような状況下において日本のエネルギー需給対策を講じるためには、エネルギー需要の推計方法を様々な角度から議論し、エネルギー需要自体を深く理解することが必要となります。

今回の政策懇話会では、マクロ経済モデルをベースとして部門別（産業、業務、運用、家庭）のエネルギー需要を推計する方法と、産業連関ベースでの産業別のエネルギー投入量を推計する方法について分析されているお二人をお招きし、エネルギー需要長期見通しについて話題提供いただいた後、参加者を含めた討議をおこなうことを計画しています。皆様方の多数の参加をお待ちしております。

〔主催〕 一般社団法人 エネルギー・資源学会

〔日時〕 平成30年11月12日（月） 15：00～17：00 懇話会  
17：00～18：30 交流会（立食）

〔会場〕 株式会社構造計画研究所 本所新館（東京都中野区中央4-5-3）  
\*懇話会 地下1階「レクチャールーム」 \*交流会 1階「en cafe」

〔交通〕 東京メトロ 丸の内線・新中野駅1，2番出口から徒歩1分

〔司会〕 東洋大学経済学部学部長，教授 小川 芳樹  
株式会社構造計画研究所 資源・エネルギー担当 伊野 慎二

〔次第〕 \*15：00～15：30 《話題提供（1）》  
…一般財団法人日本エネルギー経済研究所 研究主幹 松尾 雄司氏  
\*15：30～16：00 《話題提供（2）》  
…慶應義塾大学 産業研究所 教授 野村 浩二氏  
（16：00～16：10 休憩）  
\*16：10～17：00 意見交換  
\*17：00～18：30 交流会

〔定員〕 40名程度

〔参加費（消費税込）〕 参加は、本会の正会員・特別会員に限る。産業界13,000円，大学・官公庁6,500円

〔支払方法〕 ①銀行振込 りそな銀行御堂筋支店（普）No.1024046 ②郵便振替 00930-5-302948

〔申込方法〕 学会HP「行事申込（[http://www.jser.gr.jp/form/form\\_02.html](http://www.jser.gr.jp/form/form_02.html)）」からお申し込み下さい。  
参加証・請求書などをお送りします。当日参加証をご持参下さい。

〔問合せ先〕 〒550-0003 大阪市西区京町堀1-9-10（リーガルスクエア京町堀）  
一般社団法人 エネルギー・資源学会 事務局（<http://www.jser.gr.jp/>）  
TEL 06-6446-0537 E-mail：gyoji@jser.gr.jp